



銀座の言語景観 2

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 店舗看板からみた銀座
 - 店舗看板からみた銀座
 - 中央通りから見る日本語
 - 晴海通りから見た銀座
- 縦看板からみた銀座
- フロアガイドからみた銀座
- 店舗入口の掲示類からみた銀座
- ショーウィンドー内の
掲示類からみた銀座
- パンフレットからみた
銀座のデパート
- 店内放送からみた
銀座のデパート
- 東京ユビキタス計画からみた
銀座
- あとがき

第2章 店舗看板からみた銀座

0311137 鈴木陽介
0311127 上崎拓人

PDF 調査マニュアル&チェックシート (PDF)

2.1.調査概要

銀座・中央通りと晴海通りに面した店舗看板から、「東京の中心地」とも言える銀座が内包し、主張する現在の日本語形態について考察する。銀座は海外からの旅行者が多いため、それらが銀座にどのような影響を与えているかも、視野に入れたいと思う。

2.1.2.項目定義

店舗名が書かれずとも、それだけで何の店かある程度分かるように示されているものは、調査対象の看板とみなす。

 **2.2.中央通りから見る日本語（鈴木陽介）**

 **2.3.晴海通りから見た銀座(上崎拓人)**